

あいみ富有の里

平成25年 10月 1日発行
発行元
あいみ富有の里地域振興協議会
広報誌編集委員会
問い合わせ先 64-3504
fuyunosato@town.nanbu.tottori.jp

～お知らせ版 第62号～



富有の里の敬老会が9月16日、いこい荘で開かれ満75歳以上の対象者264人のうち77人が元気よく顔をそろえ、長寿を祝った。

式典では主催者の挨拶のあと来賓(町長)の祝辞に続いて、満100歳の朝金「赤井鹿代」、市山「野口光子」さんに内閣総理大臣祝書、米寿の10人に記念品が贈られた。また、高姫の「門原成代」さんが代表してお礼を述べた。

演芸では、地元ひまわり保育園児の踊り、マジックショー、琴・尺八演奏、若柳流日本舞踊などが披露され、和気あいあいと秋の一時を楽しんだ。なお、100歳以上の長寿者は南部町全体で10人であり、そのうち4人は当区。皆様いつまでもお元気で・・・(ふれあい部)



敬老会
特集



集落づくり・地域づくり計画

平成26年度からの、第2期「富有の里地域づくり計画」策定に向けて、地域づくりの基礎となる集落づくり(住民の意向を尊重)計画の検証を行っている。

「安心して暮らせる・活力とにぎわい・自然、景観、伝統文化を大切にする地域づくり」「活力と安らぎの里」を目指した第1期の基本方針を検証及び見直しに向けて鋭意作業中。

第2期計画では、従来取り組みが遅れがちであった、「少子化対策・地域の魅力をひきつける地域資源の発掘・宣伝」を考慮に入れ、この地域が衰退しないように若者の定住や他地域からの移住対策を重点的に取り入れる必要がある。

年度内には、第2期(H26~30)地域づくり計画を決定する予定。意見等があれば最寄りの総務企画部員まで。(総務企画部)



写真は町指定文化財「天宮さん」巨石と極相林の鹿子木(珍木)

路線バスと買物店舗

乗って守ろう



たまには買って維持しよう



富有の風

笹ゆり パート2

近年、猪の被害が拡大するにつれて、個々に被害対策されていたのが集落全体を柵で囲いをするところが増えている。

これで農作物については、人間と猪の棲み分けが出来て被害は見受けられなくなった。

ところが、わずかながら自生している「笹ゆり」は柵の外、猪側であり、採種用に花の時期に目印を立てて置き、秋種取りに行ってみると見当たらず、穴が掘られて近くには枯れた茎が残されている。

猪侵入防止柵と「笹ゆり」被害の因果関係は分からないが、いまほんの僅かに残っている自生「笹ゆり」の絶滅が早くなりほしくないか心配である。(I)

行事案内

★青空市

日時:10月13日(日)・27日(日)15:00~

場所:農産物加工施設 えぷろん

★朝鍋ダム周辺草刈

日時:10月6日(日)8:30~親水公園管理棟集合

★都市間交流事業

(就将公民館祭出店)

日時:10月20日(日)

★大山町視察研修受入

日時:10月22日(火)

